

平成29年度 第2回新居浜市地域公共交通活性化協議会議事録

○日 時 平成29年9月29日（金）14:00～15:20

○場 所 新居浜市役所 3階 応接会議室

○出席者 ・協議会委員：寺田政則会長、
渡部光男委員、田所秀志委員、門田正孝委員（代理）、
関谷俊夫委員、窪仁志委員、白石昌史委員、森本英二委員（代理）、
田村修也委員（代理）、三木博喜委員、永易大典委員、
砂田篤志委員、中川美奈子委員、谷本昌啓委員、鴻上浩宣委員

15人

（欠席）

星加勝一副会長、今村美鈴委員、越智千鶴子委員
矢野英司委員、山下文明委員 5人

・事務局：宮崎 運輸観光課長（事務局長）
安永 運輸観光課副課長（事務担当）
正岡 運輸観光課副課長（事務担当）
町田 運輸観光課副課長（事務担当）
二宮 運輸企画係長（事務担当・出納員）

・傍聴者：0人

○会議次第

1. 開 会

2. 協議事項

- (1)新居浜市地域公共交通網形成計画の策定について
- (2)デマンドタクシー（上部東エリア）運送区間の見直しについて

3. その他

- (1)JR 新居浜駅バリアフリー化工事について（報告）

4. 閉 会

1. 開 会

【宮崎事務局長】

定刻が参りましたので、ただいまから、平成29年度第2回「新居浜市地域公共交通活性化協議会」を開催いたします。

本日の出席状況ですが、新居浜市連合自治会の星加副会長さん、新居浜市女性連合協議会の今村委員さん、新居浜市社会福祉協議会の越智委員さん、新居浜商工会議所の矢野委員さん、四国運輸局愛媛運輸支局の山下委員さんからご欠席とのご連絡を頂いております。現在20人中15人のご出席で過半数を超えていますので、協議会規約第8条第2項に基づきまして、会議を進めさせていただきます。

また、本日は代理出席として、瀬戸内運輸株式会社から川田様、四国地方整備局松山河川国道事務所から柳川様、新居浜警察署から矢野様にご出席いただいております。どうぞよろしく願いいたします。

なお、本日の会議は、協議会規約第8条第4項に基づきまして、公開とさせていただきます。事前に開催日時などを市民にお知らせして傍聴を認め、会議の開催結果についても、議事録などを公表することといたしておりますので、ご承知いただけますようお願いいたします。

それでは、議事に入ります前に、今回から愛媛県ハイヤー・タクシー協会、瀬戸内運輸株式会社の2名の委員さんが交代されております。恐れ入りますが、本日出席いただいております、愛媛県ハイヤー・タクシー協会の田所さまに自己紹介をお願いしたいと存じます。田所様、お願いいたします。

また、本日の会議には、新居浜市地域公共交通網形成計画を策定するにあたり、専門的な知識を必要とする部分も多くなりますことから、愛媛大学 大学院理工学研究 所 生産環境工学専攻 准教授 倉内先生にアドバイザーとしてご出席をいただいております。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、これより、会長の議事進行でお願いいたします。

2. 議事

【会長（副市長）】

それでは、会議次第に従いまして、議事を進行させていただきます。
まず、新居浜市地域公共交通網形成計画の策定について事務局から提案願います。

（事務局より提案説明、パシフィックコンサルタンツ(株)より内容説明）

【会長（副市長）】

ありがとうございました。それでは、ただいまの説明がありましたが、資料が多いため、会議の進め方としましては問題点と課題について大きく3つの項目に分けて、それぞれの疑問点等についてのご意見をいただき、最後に新居浜市の課題についてのご意見をいただけたらと思います。それでは、まず、現状を踏まえた問題として社会状況、交通特性に関して何かご意見はございますでしょうか。

ご意見等ないようですので続いて、公共交通に関して何かございますでしょうか。こちらもないようですので、次に、上位関連計画についてございますでしょうか。

現状を踏まえた問題、上位関連計画についてはご意見がないようですので、先ほどの説明でご理解いただけたということですのでよろしいでしょうか。

（異議なし）

【会長（副市長）】

ありがとうございます。それでは、続きまして計画策定にあたっての新居浜市の計画課題につきまして、何かご意見はございますでしょうか。

【谷本委員】

資料2のP11で、路線バスの市補助額の推移とデマンドタクシーの運行経費の推移があり、年々右肩上がりとなっていますが、今後サービスレベルを変えなければ恐らくこの傾向で続いていくと思われます。計画の中では、財政面から見て、市のサービスレベルがどこまで対応していけるかというラインを示す必要があるという視点が必要で、便利にしすぎると財政負担が膨張していくことが考えられるため、どの層を中心にカバーするのかといった点や継続していくための財政面からみたサービスレベルについても計画の中に入れてもらいたいと思います。

【白石委員】

同じく資料2のP11で、1台あたりの平均乗車人員があるが、この人数を増やすことが大切である。しかし、自分が思っていたよりも少ないと感じるが他都市では平均どれくらい乗っているものなのですか。

【パシフィックコンサルタンツ(株)】

本日は、資料がないためすぐに数字で示すことはできませんが、現在使用している何十人乗りのバスで、この人数であるということは非常に少ないと言えるのではないかと思います。

【会長(副市長)】

他にご意見等ございませんか。

【永易委員】

同じく資料2のP11で質問ですが、運送収入の減少率と比較すると市の補助額の増加が多いイメージがあるのですが要因は何ですか。

【門田委員(代理)川田さま】

補助金の算定については、その年のバス運行に要した費用から運送収入等を差し引いた数字をもとにしているため、収入は減っていても運行経費が増えた場合、例えば何年か前は軽油価格が高騰した場合には、運行経費が増えておりますため、その分補助額も増えるという状況となっていると考えられますので、必ずしも収入の下がり方と補助金の上がり方が一致しないということになります。

【永易委員】

ありがとうございます。あとひとつ。現在、市内を走っているのは大きいバスになりますが、例えば小さいバスにすれば経費が下がるということはあるのですか。

【門田委員(代理)川田さま】

現在新居浜市で走っているのは、中型バスになります。乗車人数が平均4人程度ならばそんな大きいバスを走らせなくてもよいのではと思われるかもしれませんが、小型バスに変更したとしても車両購入費用はほとんど変わりません。大は小を兼ねるではありませんが、購入費がほとんど変わらないのであれば、急な需要があった場合、例えばJRが止まった場合などに安定した輸送ができるようにするため、現

在は中型バスを導入しております。

【会長（副市長）】

先程、谷本委員さんからご意見のありました、財政負担という観点でサービスレベルをどうしていくかということと計画に入れてはどうかということでしたが、皆さんそれでよろしいでしょうか。

【倉内准教授】

デマンドタクシーの利用者が数年でここまで増加しているという状況も珍しいと思います。ただ、バスとあわせた時のデマンドタクシーの割合は約5%ということですが、市負担額がかなり増加傾向にありこのままでは将来的に持続できなくなると思われます。公共交通の基本は、たくさんの方が利用すれば、一人当たりにかかる経費が安くなる、安くなった分をサービスの充実に使う、そうすればまた使ってくれる、そういう流れにならないとまわっていかないものであり、今のデマンドタクシーの形態では、市民の皆さんには使いやすいものであっても、一方では市の負担額がさらに増えるという状態であるため、根底の部分で修正していく必要があります。早急に改善していかないと数年後には財政的に厳しい状態になるのではないかと心配しております。もうひとつが、デマンドタクシーの人口カバー率が約3割でデマンドタクシーは非常に重要ですが、恐らくデマンドタクシーの利用者が増えることでバス利用者が減っており、理想としてはバスとデマンドタクシーの両方が微妙に増えていくことだと思いますので、現状はその形になっていないということも認識したうえで、今後制度的にも仕訳をしていかないといけないと考えます。網計画を策定するうえでも重要な部分になってくると思いますので、早急にご検討いただけたらと思います。

【パシフィックコンサルタンツ(株)】

バスだけで市内全域をカバーすることは難しいため、バスとデマンド交通がセットでうまく相乗効果を出せるよう、アンケート結果等を踏まえながらよりよいまちづくりになるよう検討していきたいと考えます。

【三木委員】

資料2のP15でデマンドタクシーの認知状況の中で、約6割の市民が認知しておらず認知度が低い気がするが、事務局としてどうお考えか。

【宮崎事務局長】

デマンドタクシーの認知状況につきましては、無作為抽出で約5千人に対して実施したアンケート結果となります。その中でも約75%の方がマイカーで移動され、残り約25%の方のうち約十数%の方が自転車やバイクを利用されており、バスやデマンドタクシーといった交通を利用される方の割合が低い結果となっており、市政だより等での広報や免許返納時の制度の広報はしている状況ですが、普段マイカーで移動される方は広報をしてもあまり興味を持たれないことが多く、本当に必要な人のみ認知していただいている結果であると考えております。

【鴻上委員】

少し補足をさせていただきます。デマンドタクシーを認知されていない人が約6割ということですが、デマンドタクシーが運行していない川西地区の方もアンケートの対象であるため、川西地区の方は比較的デマンドタクシーの認知状況が低いという結果になっているのではないかと考えます。あと、利用につきましては、1日平均利用者数が平成23年が約15、16人、平成25年になりますと約44人、現在平成28年は約74人ということで、利用される人数は増えているということになります。また、運行経費において市の負担額が増えているという部分ですが、こちらはデマンドタクシーの構造的なものがございまして、走らせれば走らせるほど市の負担額が増えるというような傾向になっております。ですので、そのあたりをどう改善していくかということ、バスですべてをまかなうという訳にはいきませんので、例えばバスのルートにデマンドを繋げていって、乗り継ぎのご不便はおかけするのですが、その方にバス交通をご利用いただくようにすれば将来的にバスの利用者も増え、経営が続けられるようになる。現在の負のスパイラルを逆転させるような計画を作成していかないといけないと思っております。

【三木委員】

事務局としては、この認知状況で満足しているということか。

【宮崎事務局長】

そういう趣旨のものではなく、必要な人に対してだけ実施したアンケートでこの結果ということであれば、広報的に問題があるという事でご指摘をうけても仕方ないと思います。しかし、今回のアンケート調査は、無作為抽出によるものであるため、今回の結果としては、妥当なところなのではないかと思っております。

【中川委員】

アンケートの実施については対象者は任意抽出であるため人口密集地の川西地区は恐らくアンケートの配布数が多くなっていると考えられます。例えば、アンケートの集計の仕方、デマンドタクシーを運行している地区の住民の方の意向はどうだったのかというものが補足であればわかりやすいのではないのでしょうか。

【宮崎事務局長】

そういった抽出も可能かと思しますので、再度整理したいと思います。

【永易委員】

デマンドタクシーの利用目的は通院が多く、この中でも市内の大きい病院に行かれています方が多いと思うので、効率よくするのであれば、通院専用の新たな交通を導入すれば、効率はよくなるのかもしれませんが、それが良いのかどうかはわかりませんが、目的別のものがあればユーザーのニーズを満たし、効率もよくなるのではないかと思います。

【窪委員】

公共交通の協議会の議論だけでは公共交通も活性化はなかなか難しいと思います。

そこで資料2の最後の部分に計画課題を4つほどあげていただいておりますが、私自身も他の自治体などで公共交通や立地適正化、まちづくりの会に出席させていただいておりますが、実際コンパクトシティは本当に実現できるのか、特に新居浜市のように広範囲にわたって人が住んでいるような場合、居住誘導区域などに引っ越ししてくれるのか。まちづくりの観点からも真剣に協議しないと解決しないものであり、引っ越ししてくれた場合の優遇措置などはあるのかということや、何もメリットがないのに住み慣れた場所を離れて居住してくれるのか。そういうところが大きな問題なのではないかと。まちづくりの観点からみることも重要であります。JR四国も人口減少社会については危惧しており、まちづくりと一緒に利用促進策を模索していかないといけないと考えておりますので、そのあたりでヒントになるようなことがあればお教えいただきたいと思います。

【倉内准教授】

おっしゃるとおりで本来であれば、中心部に住めば公共施設の維持費は低減できるが、なかなか町の中心部に引っ越してきてくれた方へのメリットについては難しいところがあると思います。

今後、2020年代あたりには自動運転という大きな変化がやってくることで、一般道を完全自動運転車が走るようになるかもしれませんが、先に公共交通の方が自動化になる可能性があります。仮に完全自動運転社会になった場合でも、公共交通は未来永劫必要です。うまくまわれば、サービスを供給するのにかかる費用が人件費が減る分若干良くなる可能性はあると思います。

非常に重要なのは、住民の方々が公共交通が本当に必要であるという事を真剣に考えていく必要がありますので、現状であれば、まずはデマンドタクシーを見直す場合には、市と協議会のみで決定するのではなく、対象となっている住民の方を交えて改善策を協議していただきたいと思っています。

【会長（副市長）】

新居浜市の都市の成り立ち上合併を繰り返しているため、大きく分けても3つに分かれており、コンパクト化を推し進めていくのは非常に難しく、時間がかかる問題である。立地適正化計画についてもパシフィックコンサルタンツ(株)さんがご担当されておりますが、そのあたりはまちづくりと連携して進めていくということでしょうか。

【パシフィックコンサルタンツ(株)】

まちづくりを考えるうえで、コンパクトにするだけでなく、ネットワークが大切でありそのネットワークを公共交通が担うという考えになっています。公共交通網形成計画と立地適正化計画の両方を連携しながら作成していかないと、なかなか目指すものはできないと思います。また、土地利用の問題は時間がかかる話であり、土地利用が先か公共交通が先か、もちろん両輪で考えていくことが重要であるが、どちらが先にやっつけられるかとなると、私見にはなりますが、公共交通の方がより理想形を目指していきやすいのではと思っています。公共交通が土地利用を積極的に誘導するような役割になっていければ目指すところも実現により近づいていけると考えております。

【会長（副市長）】

なかなか難しい問題ではありますが、立地適正化計画や公共交通網形成計画、さらには公共施設再配置計画も作成中でありますことから色々な観点から検討していきたいと考えております。

路線バスとデマンドタクシーの兼ね合いについてですが、相乗効果が出るようまた財政面等も考慮ながら計画の中に重点項目として盛り込むということによろしいですか。

（異議なし）

【会長（副市長）】

先ほど、中川委員さんからもご意見をいただきましたように、デマンドタクシーの認知状況については、エリアごとでの状況把握を進めていただきたい。

それでは、全体を通して何かご意見等ございますでしょうか。

【谷本委員】

参考までの話として、公共交通を利用してほしい人を確実におさえるという意味で、例えば免許返納者については今後の移動の問題がすぐに出てくるので、警察とも連携してうまく公共交通の利用へ誘導していけるようにすることは大切であると思う。

また、公共交通を使われる方は、元気な方、ご自身で歩ける方なので、運輸局の方でも公共交通ユーザーの確保について警察との連携の必要性を感じているところでもあります。

【田村委員（代理） 矢野さま】

警察では、運転免許証自主返納者を支援していただく事業者を年々拡大していきっており、タクシーやせとうちバスについても運賃の割引を開始していただいております。そのため、返納者に対しての丁寧な説明や更なる周知の必要があると認識しており、路線バスやデマンドタクシーがご利用できない方に対してのタクシー利用の割引補助等についても今後検討していきたいと思っております。

【会長（副市長）】

他にご質問、ご意見がないようでしたら、協議事項(1)新居浜市地域公共交通網形成計画の策定につきましては、本日いただきましたご意見をもとにしまして、次回協議会までに本市の目指すべき公共交通のあり方等につきまして、事務局の方で整理をし、次回、第3回協議会でご提案させていただきたいと思っております。

【会長（副市長）】

次に、協議事項(2) デマンドタクシー（上部東エリア）運送区間の見直しについて事務局から提案願います。

（事務局より提案説明）

【会長（副市長）】

ありがとうございました。それでは、協議事項(2)デマンドタクシー（上部東エリア）運送区間の見直しにつきまして、何かご質問、ご意見はございますでしょうか。ご意見がないようですので、協議事項(2)デマンドタクシー（上部東エリア）運送区間の見直しについて、ご承認いただくことでよろしいでしょうか。

（異議なし）

3. その他

【会長（副市長）】

続きまして、「その他」に移りたいと思います。

JR新居浜駅バリアフリー化工事について、事務局から報告をお願いします。

（事務局から報告等説明）

【会長（副市長）】

それでは、本日、四国旅客鉄道(株)より窪委員さまにご出席いただいておりますので、よろしければ一言お願いしてよろしいでしょうか。

【窪委員】

先日、新居浜駅と西条駅のバリアフリー化が完成し、記念式典を行いました。何よりえひめ国体に間に合ったことで安心しております。切符を見ると、国体割引をご利用され遠方から来県されております。バリアフリー化工事は、総工費が約2億円で、国、県、市から補助をいただき完成に至っております。今後は利用しやすい駅になることが大変重要であると考えており、新居浜駅は1番線は特急列車が上下線使っており、2、3番線は普段通勤、通学等ローカル線としてお使いいただいておりますため、バリアフリー化は非常に有効なものになったと思っております。また、先程説明のあった点字ブロックについてですが、内方線が入ったもので視覚障害のある方への転落防止の意味がございまして、移動円滑化ガイドラインに基づいた最新のものとなっております。これからは、鉄道だけではなく路線バス等を含めた公共交通を利用しやすいということがこれから重要になってくると思いますので、よりよいコンパクトシティに向けてご協力、ご理解をお願いしたいと思っております。ありがとうございました。

【会長（副市長）】

新居浜駅については、コンコースもすでにバリアフリー化されており、駅のバリアフリー化が進んでおります。その他、ご質問、ご意見はございませんか。

それでは、その他、どのようなことでも構いませんので、各委員の皆様方から、何かご意見や参考になるようなことがございましたら、ご発言をお願いいたします。

【会長（副市長）】

それでは、各委員さんから、ご意見等もないようでございますので、最後に、事務局から連絡事項がありましたらお願いします。

【宮崎事務局長】

本日は、御審議ありがとうございました。本日ご意見をいただきました、新居浜市地域公共交通網形成計画の策定につきましては、内容を整理いたしまして、次回協議会において本市の目指すべき公共交通のあり方についてご提案させていただきます。また、ご承認いただきました、デマンドタクシー上部東エリア運送区間の見直しにつきましては、運行事業者との調整を行いまして、今後必要な手続き等を進めてまいります。

次回の開催日程につきましては、会長、副会長さんと調整させていただいて、改めて御案内させていただきますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

4. 閉会

【会長（副市長）】

以上で、予定をいたしておりました事項をすべて終了いたしましたので、本日の会議は散会いたします。皆様ありがとうございました。